



おしゃべり

柳原 昭三

僕は言語障害を持っています。大勢の人達と、おしゃべりをする時は、僕は話を聞いています。めったに僕が話すことはありません。話すスピードが違うから、なんとなく話せなくなります。

二人で話をしている時、相手が何か急用が出来て、電話がかかってきて、話が途中で終わることが、本当にたまにあります。相手は、「急用が終わったら、電話が終わったら、続きのおしゃべりをしましょう」と言ってくれます。

ところが、相手の急用が終わっても、電話が終わっても、相手が僕のところに来て、「他の急用が出来てしまったから、おしゃべりはまた今度しよう」と言われることが多いです。

そういう時は、僕の気持ちとしては、おしゃべりが途中なのに、最後までおしゃべりをしたかったと思います。悲しくなります。おしゃべりが途中で終わると無念になります。

とうたす通信

発行 あさやけ風の作業所内 とうたす班
〒187-0033 小平市中島町 3-8
TEL 042(349)2366 kaze@asayake.or.jp
<http://www.asayake.or.jp/kaze.html>

No.307
2017年9月20日

介護保険になって

亀井 賢太郎

介護保険が始まって今年で、2年が経ちました。始まる前は時間数が、減らされるのではと心配していました。でも予想外に時間数を減らされずに、済みましたので安心しました。時間数を減らされると、自己負担が多くなるのでお金の方が、大変になるなと思っていました。

僕は重訪（重度訪問介護）と介護保険と併用になりました。重訪だけの時は、好きな時間帯に好きなだけ外出が出来ていました。時々は飲みにも行ったりしていました。でも介護保険が入るようになってからは、時間帯が決まっていてその時間帯は外出が出来ません。介護保険は、身体介護と家事援助だけだからです。自由に外出が出来なくなった事が、非常に残念です。

言って無駄だと思いますが、でもあえて言わせてもらいます。僕の要望ですが介護保険にも、外出支援を付けて欲しいと思っています。そうする事で楽しみだって増えてくるし、生きがいで出てくるのではと思いますが……。これが2年目で感じた事です。

★ 特集 ★ 自由テーマ



短歌

歌作りは心の中の花火の如く
打ち上げるまで苦労する
この夏は暑さに負けそう
弱音を誰かにぶつきたい秋風恋し

竹内 桃子



「命を繋ぐ最後の砦」

古橋 宏章

人工呼吸器を17歳から利用していますが、マスク式・気管式人工呼吸器にしても最初は呼吸困難のように息苦しく着け外しを繰り返して体に慣れさせました。2台目以降からは免疫力のような物がついているから時間が掛からず慣れますが、複雑な設定を含む取扱説明書を覚えるが大変です。

呼吸器は命に関わる大事な機器なのに家電機器と同じ扱いで「メンテナンスが終了するから」という理由で乗り換える事に納得できません。自分は前呼吸器との相性がとても良かったのに「慣れるしかない」という扱いに法律を変えても裁判を起こしても覆らないのでしょうか。

新呼吸器の製造者には、性能を高めたためとても敏感になった事やバッテリーの容量が12時間から5時間になった事にすごく不便で困っています。テストを怠った事実もあるから全く命の重みが感じられず利用者の気持ちが全く分かっていないと思いました。